

社会福祉法人アトリエ

平成27年度

事業報告書

はじめに

理事長 磯部 伸之

いよいよ事業が開始され、法人理念の実現への一步を踏み出しました。その事業所の内容については、作業ありきの活動ではなく、個々の利用者と職員の関係性を尊重する事で日々変化しました。その具体的な内容は、事業所の報告にございます。

今、1年間の活動を振り返りながら、そこには、社会に必要な福祉の観点が含まれている事を実感しています。この報告書で、その意義を文章で伝えたいと試みましたが至らなから、疑問や異論などもあることと思います。これから法人の理念を社会で実現するために、皆様からのご意見を聞き、今後の方針に生かせるような会議の場を設け、また、オルタレゴの理念を実体験頂けるボランティア研修などを構築しました。

それらは、平成28年度の計画書で紹介してあります。これからも、社会福祉法人アトリエ、その中心活動の障害者福祉オルタレゴにご期待ください。

法人運営状況

<理事会・評議員会>

平成27年5月15日（金曜日）

第1回 評議員会 参加者 評議員数 11名 監事1名

第1回 理事会 参加者 理事 5名 （1名手術により欠席）
事務局等参加者3名

会場：社会福祉法人アトリエ 本部 alterego（オルタレゴ）

議題（理事会・評議員会）

第1号議案 平成26年度事業報告について

第2号議案 平成26年度決算報告について

第3号議案 その他

- ・alteregoの方針確認
- ・借入金の審査状況報告

平成27年10月16日（金曜日）

第2回 評議員会 参加者 評議員数 12名 欠席1名

第2回 理事会 参加者 理事6名 （4名書面による参加）

その他参加者 監事1名 次期理事1名 次期評議員3名

会場：社会福祉法人アトリエ 本部 alterego（オルタレゴ）

議題（理事会・評議員会）

第1号議案 マイナンバー制度による就業規則の変更について

第2号議案 次期役員の選任について

第3号議案 平成27年度事業状況について（報告）

第4号議案 その他

- ・指導監査結果について
- ・欠席が続く評議員について
- ・経理規定のサービス区分に就労支援B型の記載
- ・会計伝票による会計処理

平成27年10月30日（金曜日）

第3回理事会 参加者理事6名（1名書面による参加） 監事1名

会場 稲葉絵手紙の教室 住所：相模原市中央区相生4-15-11

議題

第1号議案 理事長選出について

第2号議案 理事長職務代理順位について

平成28年3月29日（火曜日）

第3回評議員会 参加者 評議員8名（欠席5名）

第4回理事会 参加者 理事6名

その他参加者 利用者代表3名

会場 社会福祉法人アトリエ本部 alterego (障害者福祉オルタレゴ)

議題 (評議員会・理事会)

第1号議案 平成28年度事業計画(案)について

第2号議案 平成28年度予算(案)について

第3号議案 その他

施設敷地内設置予定の水場(ビオトープ)管理瑕疵について
利用者の希望と安全配慮の義務について

<監事監査>

監事による会計監査

日時 平成27年5月19日(木曜日) 17:00~19:30

会場 江成会計事務所

実施者 江成雅子監事

※水谷里枝子監事が4月30日付で退任し、監査方法等を指導監査課に確認した。江成監事による監査の結果を提出するように指導を受けた。

退任までの期間についての監査結果を郵送で受理。

<指導監査>

社会福祉法人指導監査

日時 平成27年9月25日(金曜日) 9時~13時

実施者 相模原市指導監査課 職員3人

要改善事項 会計事務について 内部けん制体制を整える事

原因 出納職員の経理ソフト対応と会計責任者への業務引継ぎの遅れ

課題 少ない職員での運営状況であるが、責務の所在を明確化し会計事務の引継ぎが必要。

改善内容 会計責任者、及び、出納職員への辞令を再交付して、各職員の責務を再確認し10月中に会計責任者へ会計事務を引き継ぐ。任命した出納職員が(会計処理担当)が非常勤であった為。今後、常勤で別の出納職員を任命し会計責任者が会計処理をする事とする。

再発防止対策等 会計ソフト「会計王」のシステムを修正し、伝表の作成担当者が分かるようにする。作成担当者以外が承認を行う。承認の権限をユーザーごとに定めて管理する。

通知事項 評議員会への欠席が継続している評議員がいるので、欠席が継続することがないように必要な措置を講じる事

原因 欠席した評議員の都合で次回を開催することにしてしたが、複数名の欠席に対応してしまった結果。

課題 多忙により参加できない評議員もいる事

対応 その評議員も参加の意思とやむを得ない欠席であるので今回は、全員が重任いただき、欠席が続いた場合に対応する。

通知事項 経理規程のサービス区分に就労継続支援B型がない事

原因 設立当時は、就労継続支援B型の指定を受ける事が決定していなかった為。

対応 経理規程の変更をして就労継続支援B型の区分も記載する。

<職員の研修状況>

内部研修（全6回）

日時	4月1日（水曜日）16：00～18：30
----	----------------------

内容 「職員の心得」講師：施設長 磯部伸之

参加者 全常勤職員3名

日時	6月1日（月曜日）16：00～18：30
----	----------------------

内容 「対人関係の構築」講師：理事 杉原真樹

参加者 全職員5名（看護師をのぞく）

日時	9月2日（水曜日）13：00～13：30	訓練
----	----------------------	----

	14：00～16：00	講座
--	-------------	----

内容 防災訓練「防災に対する心得」グループワーク

参加者 全職員（看護師をのぞく）全利用者 合計7名

日時	11月5日（木曜日）12：00～14：00
----	-----------------------

内容 「看護現場から見た対人関係と健康管理の意識」

講師 看護師 秋山恵子

場所 横山インドカレー店

参加者 常勤職員3名 利用者4名

日時	1月22日（金曜日）16：00～17：30
----	-----------------------

内容 「福祉思想からの社会に対しての表現的技術」

+（緊急）安全管理のできる表現の討論会

講師 理事 杉原真樹

参加者 常勤職員3名

日時	1月26日（火曜日）13：30～15：30
----	-----------------------

	16：00～20：00
--	-------------

内容 （緊急）安全管理のできる活動+検討会

講師 理事 渡邊亮

参加者 常勤職員3名 理事2名 合計 6名

外部研修(全6回)

日時	4月1日(火曜日) 14:00~15:00
----	-----------------------

内容 「施設見学」

場所 相模原市障害者支援センター松が丘園
生活介護事業 銀河

参加者 職員3名 利用者3名 合計 6名

日時	9月8日(火曜日) 11:00~15:00
----	-----------------------

内容 「幼児教育現場からの学び」

場所 でんえん幼稚園

講師 伊藤渥子先生

参加者 職員4名 利用者3名 合計 7名

日時	11月7日(土曜日) 13:00~21:00
----	------------------------

内容 障害学会

場所 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス

参加者 施設長

日時	11月12日(木曜日) 10:00~11:45
----	-------------------------

内容 福祉医療機構マイナンバー研修

場所 県社協会館

参加者 施設長

日時	11月20日(金曜日) 15:00~17:00
----	-------------------------

内容 生活支援ネットワーク会議

場所 障害者支援センター松が丘園 3F

参加者 職員2名

日時	12月4日(金曜日) 13:00~16:45
----	------------------------

内容 発達障害のある人への就労支援とネットワークづくり

場所 北里大学

参加者 職員2名

<苦情・ヒヤリハット>

1件

※「防犯ベルがうるさい」近隣住民より

防犯システムは、警告音が鳴らないシステムであることを説明した。

1 年を振り返って

4月から、集った利用者3名、職員5名で共に活動を模索しました。できたての「なにもない」状態を好機ととらえ、かかわりからの活動を生み出してゆきます。作業があって、その必要からの関わりから人間関係を構築するわけではありません。それぞれが自然にいて、そこからお互いの関係やコミュニケーションから活動としての行動が生じます。そんな時を過ごすうちに、利用者の自発的な行為を、安易に否める事に疑問が生まれました。

無駄、おかしい、あぶなっかしい・・・本当に危険がない事を見極めて周りに困る人がいない場合には、その行為を止めるよりも、時には一緒に楽しみ、時には離れて、お互いになにかを発見したいと感性を働かせます。いつしか、自発的にオルタレゴに必要な行動や感性を刺激される行為が生まれました。

象徴的なことで「色鉛筆をけずる」の行為と時間を思い出しています。ある利用者さんが芯をとがらせる意味を超えて色鉛筆をナイフでけずり、床に色が広がります。誰も「無駄」「よごさない」「危ない」などと否めることなく。床に広がった色合いは美しいのですが、時間がたつと、自ら箸できれいな床にもどします。「美しい」や「きれい」など、それを見せるわけでもなく。まわりも賛美するわけでもなく、自然にその時を一緒に過ごします。半年ほど、けずる色鉛筆がなくなるまで、オルタレゴの光景の一つでした。ある日に来た大企業を卒業されたご婦人がその時を共有し、自分の時間を感じたと晴れ晴れしい表情で帰られました。・・・他にも多くの方もその時を共有し、それぞれに自らの感覚に新しい発想が浮かんでいる様子でした。

日々、なにもないような事から多くの発見が生まれる不思議を感じています。発見の一つを紹介します。個々の変化を生む集団内の関係です。義務、責任からのかかわりでなく、目的に向かう集団の中での個々の無理のない関係で、そこに純粋な対等な関係性のバランスを保とうとすることから自発的に個人の変化が生まれました。そして、それは、利用者だけが変わるのではなく、すべての立場の人間、管理者の私自身でも同じでした。・・・変化を実感できる環境や感覚って、文明が進んだ人間社会に必要なのでは・・・。

今、一年を振り返ると、オルタレゴは、知的障害者がどういうものなのか、本当のものの捉え方とはどういうものなのか同時に探ることのできる場所としての機能があると言いきれます。オルタレゴの日々には、不安や障害が期待や意義に変化できる可能性に満ちています。それが、社会の閉塞感を打開する力になるのではないのでしょうか。

<活動実績>

現在、多機能型の就労継続支援B型の利用者契約数は0名です。
生活介護事業の報告となります。

<活動内容>

- ・昼食づくり：毎日
給食の昼食づくりが買物、準備などで関係や自発性を強く感じる活動です。
- ・プール：週1回+希望者に第1、3土曜日（基本）
水を感じる感覚を深め、プールの利用方法の可能性を広げています。
- ・来客：延90名以上の来客がありました。
オルタレゴならではのおもてなしで、発想を感じてもらっています。
- ・外出：月1回程度（電車等を使う）
動物園・美術館・博物館・幼稚園等に行き日常の範囲を広げてみています。

<利用者数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	24	19	22	24	24	21	24	21	23	21	22	21	266
延人数	61	53	66	69	61	61	85	78	85	87	92	104	902
契約数	3	3	3	4	4	4	5	5	5	7	7	8	8

<事業収入額>

4月分：766,921円
5月分：643,400円
6月分：788,916円
7月分：822,496円
8月分：739,303円
9月分：712,332円
10月分：1,052,339円
11月分：954,314円
12月分：1,029,878円
1月分：1,026,577円
2月分：1,069,495円
3月分：1,202,830円

年間 10,808,801円